

ふどう に いせき となり
不動Ⅱ遺跡では、隣の不動Ⅰ遺跡と同じく、今から約
3,000 ～ 2,300 年前の縄文時代晩期と約 1,000 ～ 1,200
年前の平安時代のムラの跡がみつかりました。また、約
200 年前の江戸時代の陶磁器も沢山発見されました。

平安時代の家は四角形をしており、^{たてあなじゅうきよあと} 竪穴住居跡と呼ば
れます。^{ゆか しゅうい} 床が周囲の地面よりも一段掘り下げられ、壁側
には火を焚いて調理をしたカマドがついています。竪穴
住居跡からは当時の食器である土師器や須恵器と呼ばれ
る土器などが出土しまし
た。

^{ふどういせきいったい みやの} 不動遺跡一帯は、宮野
^{め にたないちく} 目の似内地区と並び、市
内でも代表的な平安時代
のムラ場所なのです。



平成 8 年度調査 竪穴住居跡



平成 8 年度調査 ^{すえきつき} 須恵器坏 (左) と平成 10 年度調査 ^{はじきつき} 土師器坏 (右)

